

交差点名の番号化（ルート番号の併記）

1. はじめに

国際化やカーナビゲーションシステム（以下カーナビと略します）の普及に伴い、交差点名称がますます重要となってきました。

これらは、「交差点の番号化やルート番号の併記」を行うことによりさらに充実した案内情報が可能となります。

以下は、これらを「交差点の番号化」として提案するものです。

2. 交差点番号化の必要性

一般道路を走行している車両（ドライバー）が交差点位置を確認することは、運転する上で非常に重要な情報です。現在は交差点特に信号交差点では、主要交差点が地名を代表する名称で漢字とローマ字により交差点名が表記されてる状況となっています。

しかし、現行の表示においては、次のような課題があげられます。

- 1) その表示を読み取り難いと思われる県外からの来訪者や外国人等のドライバーには、文字の大きさや名称の識読が難しいように思われます。
- 2) 交差点名は、ドライバーにとって重要な位置の情報となりますが、名称だけではその機能が充足しておらず、交差点名や標識名の重要性を再認識する必要があります。
- 3) 交差点名に地名を代表する名称のみで表示しているため、県外からの来訪者や初めて通過する人にとっては読み方すらわからないものもあります。
- 4) 全ての交差点について名称が与えられているわけではないので、交差点位置を伝達するのに「〇〇病院の向かい角」「××看板のまえ」といった、あいまいな情報しか出来ない箇所も多くあります。
- 5) 交差点名を頼りに通過するものは、ほとんどが周辺の地理に不案内であり、進行方向についての案内の重要な情報となります。

このため、より正確で一般的な位置情報の機能が付加できれば、より安全で円滑な走行が可能になると想像されます。

3. 交差点番号化について

従来の交差点名に番号や位置の表示を付加することにより、以下のよう
な多くのメリットが挙げられます。

- (1) ルート番号と交差点番号を併記することにより交差点通過者にとって、
自分の位置や進行方向が明確になり、経路の予想が可能になると共に、
安全性も向上します。
- (2) カーナビや道路地図との連動を図ることにより経路予測が容易になり
経路誘導が的確となるとともに時間の短縮や燃料の節約にも貢献しま
す。
- (3) 特定したエリアにおける路線について信号交差点の全数を表示するこ
とで、エリア内での自分の位置が概略的に把握でき、目的地までの距離
や時間の想定が的確となります。
- (4) 表示をローマ字や数字とすることで外国人にも自分の位置が明確にな
ると共に、経路誘導に際しても簡易化が可能となります。
- (5) 信号機の番号化により信号機の位置情報が明確となり正確な伝達が可
能となる他、交通事故の発生位置や歩行者の現在位置なども瞬時に特定
できます。

さらに今後これらのデジタル情報を GPS と連動化することで、交通状況や
渋滞情報の活用・共有化が図れ、より高度な案内誘導が可能となります。

たとえば

- (6) 交差点の番号化と共に信号機の番号化も図れ情報整理や維持管理のシ
ステム化に寄与し、費用の縮減も図れます。

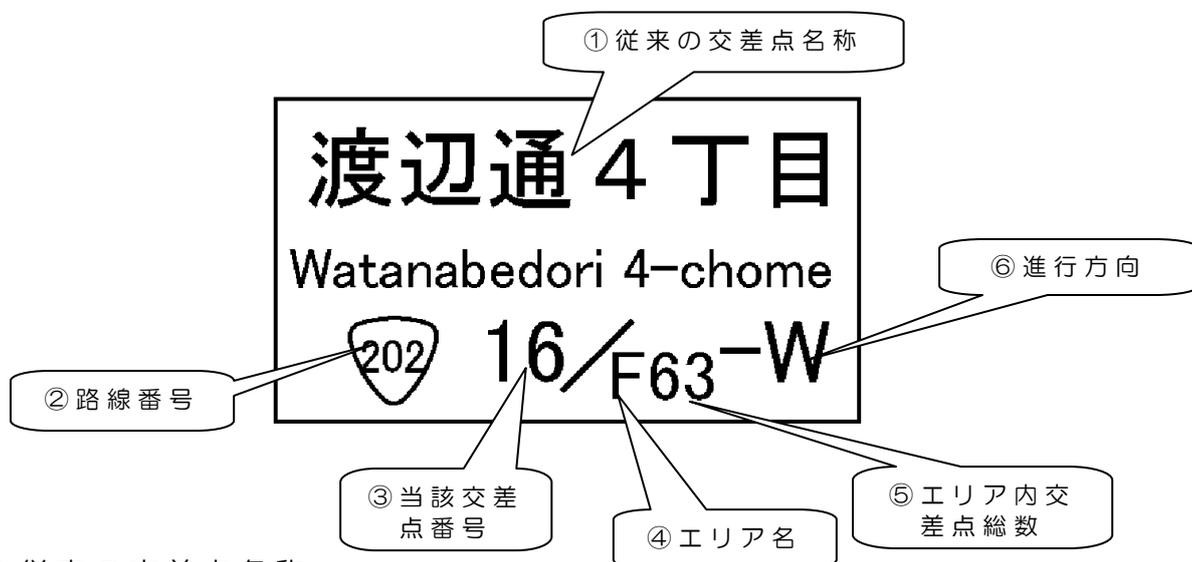
また、今後次のような発展的な利用も想像されます。

- (7) 交差点名と共に番号が一般に認知されれば、ラジオ・テレビ等のメデ
ィアによる交通情報が的確に伝わり、交通混雑緩和や迂回路情報の提供ツ
ールのひとつとなります。

4. 交差点の番号化の具体例

一例として一般国道 202 号渡辺通交差点を西側から通過する場合に案内する表示（案）を添付いたします。

従来の交差点名表示に以下の 6 項目を付加いたします。



① 従来の交差点名称

（地名案内として機能しますが、不要と考える場合も差し支えありません）

② 路線番号

従来案内標識として設置されていた路線番号を併記し、それを補完いたします。

③ 当該交差点番号

当該交差点における交差点番号を表示します。

④ エリア名

生活圈又は都市圏で区切ったエリアを表します。（Fは福岡市エリア等）。

⑤ エリア内総交差点数

エリアにおける総交差点数を表示します。

⑥ 進行方向（交差点流入方向）

路線走行者にとっては進行方向を、交差点通行者にとっては流入方向を表します。（Wは進行方向西側）

⑦ 歩行者用信号

車両用表示と同様の内容を歩行者信号にも付加します。

表示版設置概要図

